

風しん第5期予防接種説明書

1 風疹について

風疹とは、風しんウイルスの感染によって起こる急性熱性発疹症です。潜伏期間は2～3週間で、主な症状として、発疹、発熱、リンパ節腫脹が認められます。症状は比較的軽く、約15～30%の人は不顕性感染で終わることが知られています。しかし、まれに血小板減少性紫斑病や脳炎を合併することがあり、軽視できない疾患です。特に妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、胎児も風しんウイルスに感染し、先天性心疾患、白内障、難聴などの先天性風しん症候群の児が生まれることがあります。

2 麻しん風しん混合（MR）ワクチンについて

麻しん風しん混合（MR）ワクチンは、麻しんウイルスと風しんウイルスを弱毒化して作られた生ワクチンです。接種を受けた人の95%以上に感染予防に必要な抗体ができると言われています。

3 ワクチンの副反応

主な副反応は、発熱と発疹、局所症状（疼痛、腫脹、硬結、熱感等）です。稀にみられる副反応としては、アナフィラキシー様症状、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄炎、脳炎、脳症があります。

4 予防接種を受けることができない方

- ① 明らかに発熱している方（通常は37.5℃を超える場合）
- ② 重い急性疾患にかかっている人
- ③ 予防接種の成分に対してアナフィラキシー（接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）を起こしたことがある人
- ④ 今までに、免疫状態の異常を指摘されたことがある人もしくは近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ⑤ その他、医師に予防接種を受けないほうがよいといわれた方

5 予防接種を受けるに際し、医師との相談が必要な人

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患などの基礎疾患がある人
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発疹、息苦しさ、吐きなどのアレルギーを疑う症状がみられた方
- ③ 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある人
- ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことがある人もしくは近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ⑤ この予防接種の成分に対して、アレルギーを起こすおそれがある人

6 予防接種を受けた後の注意事項

- ① 予防接種を受けた後30分間は急な副作用が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- ② 入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすらないようにしましょう。
- ③ 接種当日は激しい運動や過度の飲酒は避けてください。
- ④ このワクチン接種後、違う種類の生ワクチンを接種する場合には、27日以上の間隔をあける必要があります。
- ⑤ 予防接種後に高熱やけいれんなどの異常があった場合は、速やかに医師の診察を受け、相生市保健センターへ連絡してください。